

草の根技術協力（地域提案型）
「マダガスカル・自然環境保全に関わる環境教育実践プログラム研修」
プロジェクト要約

- プロジェクト実施機関（本邦）：八木山動物公園、宮城教育大学
- C/P 機関：チンバザザ動物園（国民教育科学研究省所管）（以下「チンバザザ動物園」と略）
- プロジェクトサイト： アンタナナリボ市内
- 実施期間：2008年8月～2011年2月

プロジェクトの要約
<p>上位目標</p> <p>マ国において環境保全の必要性を認識する環境教育のリーダーが育成される</p>
<p>プロジェクト目標</p> <p>仙台市八木山動物公園と宮城教育大学が有する環境教育に関する経験・技術がチンバザザ動物園に移転され、チンバザザ動物園における環境教育の主導的人材が育成される</p>
<p>成果1：動物園における環境教育の体制が整備される。</p> <p>1-1 チンバザザ動物園の事業計画に、環境教育を適切に位置づける</p> <p>1-2 動物園内において、環境教育に携わる人材育成のための指針が作られる</p> <p>1-3 チンバザザ動物園の環境教育に関わる活動計画を強化する</p>
<p>成果2：動物園において環境教育のための人材育成が行われる。</p> <p>2-1 動物園で環境教育に関わる人材が育成される</p> <p>2-2 動物園で環境教育を実践するための教材やプログラムが収集・開発される</p>
<p>成果3：環境教育の実践活動と交流が行われる。</p> <p>3-1 チンバザザ動物園で指針に基づく環境教育の活動が実施される</p> <p>3-2 動物園間の交流を通じて、日本国内におけるマ国への理解が深まる</p>
<p>活動1</p> <p>1-1 マダガスカルの環境の課題と環境教育に関わる情報を収集分析する</p> <p>1-2 動物園関係者によるワークショップを開催する</p> <p>1-3 環境教育の指針（人材育成のための指針を含む）を作成する</p> <p>1-4 指針に基づく活動計画が作られる</p>
<p>活動2</p> <p>2-1 チンバザザ動物園の職員に対する研修（スペシャリスト研修）を実施する</p> <p>2-2 動物園を実施主体とする環境教育教材やプログラムを収集する</p> <p>2-3 園内外のリーダー研修のためのプログラムを試験的に開発する</p> <p>2-4 園内外で実施する環境教育の活動プログラムのモデルを開発する</p>
<p>活動3</p> <p>3-1 動物園で環境教育についての研修を実施する</p> <p>3-2 研修を受けた職員が園内外で環境教育活動を行う</p> <p>3-3 職員が、研修を生かして、動物園の飼育展示を改善する活動を行う</p> <p>3-4 研修を受けた教員が子どもたちを対象とする環境教育活動を実施する</p> <p>3-5 動物園や学校で、市民（子どもたちを含む？）交流事業を実施する</p> <p>3-6 事業についての情報を発信し、社会的な理解と支援を得る</p>